

事務事業評価シート2(一般事業)

1 基本情報

1 基本情報		事業番号	0240/250505/06/04		事業の種類		4	
年度	19	事務事業名	勤労者住宅資金預託事業		作成日	平成21年1月20日	重要度	4
予算事業名		勤労者福祉対策事業		担当部課名	産業振興課			
政策名		にぎわいと活気のあるまちづくり						
施策名		働く機会と環境		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
根拠法規及び関連法規		相生市勤労者住宅資金融資要綱						
事業の目的	誰のために(具体的に)	勤労者						
	誰(何)を対象として	勤労者						
	意図(どのような状態にしたいのか)	勤労者に対し、住宅建築又は購入に必要な資金の融資を行うことにより、勤労者の生活環境の改善・整備・生活維持安定による勤労者福祉の向上を図る。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		市は、取扱金融機関に預託し、取扱金融機関は、預託金の4. 5倍の住宅資金融資を行う。				
活動実績	項目	単位	17年度実績	18年度実績	19年度実績	20年度計画
	預託金	千円	190,000	140,000	117,000	103,000
	融資残高	千円	637,524	545,795	476,604	410,000

3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円			
インプット指標		17年度決算	18年度決算	前年比	19年度決算	前年比	20年度予算	前年比	備考
人員	課長以上職員	0.108	0.083	76.9	0.085	102.4	0.081	95.3	
	主幹以下職員	0.010	0.010	100.0	0.010	100.0	0.010	100.0	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	1,047,368	799,614	76.3	826,595	103.4	783,692	94.8	
	事業費	190,000,000	140,000,000	73.7	117,000,000	83.6	103,000,000	88.0	
	合計	191,047,368	140,799,614	73.7	117,826,595	83.7	103,783,692	88.1	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	191,047,368	140,799,614	73.7	117,826,595	83.7	103,783,692	88.1	
	合計	191,047,368	140,799,614	73.7	117,826,595	83.7	103,783,692	88.1	

4 評価指標

【有効性】

指標名1		融資件数							
指標説明(式)		件数							
指標単位	区分	17年度	18年度	前年比	19年度	前年比	20年度(計画)	前年比	備考
件	目標	15	2	13.3	2	100.0	2	100.0	
	実績	0	0	-	0	-			
指標名2		融資額							
指標説明(式)		額							
指標単位	区分	17年度	18年度	前年比	19年度	前年比	20年度(計画)	前年比	備考
千円	目標	15,000	20,000	133.3	20,000	100.0	20,000	100.0	
	実績	0	0	-	0	-			

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	17年度	18年度	前年比	19年度	前年比	20年度(計画)	前年比	備考
	実績			-		-		-	

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	17年度	18年度	前年比	19年度	前年比	20年度(計画)	前年比	備考
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(19年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	1次評価(係長)	2次評価(課長)
妥当性	市民ニーズ	勤労者福祉の向上を図るためであり、妥当である。	4	4
	市の関与の妥当性	勤労者福祉の向上を図るためであり、妥当である。		
有効性	成果目標(改善)達成度	金利の状況もあり、新規利用者数が減少している。	3	3
効率性	手段の最適性	預託を行うことにより、金利が低くなっているが、低金利の状況が続いており、預託効果が以前と比較し薄れている。しかし、長期的な観点では手段としては、妥当であると考えている。	3	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	低金利の状況の中、預託効果が以前と比較し薄れている。

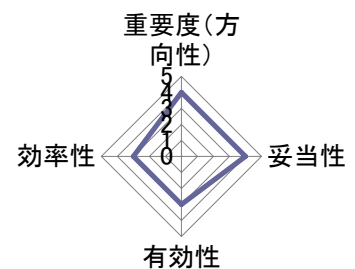
7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた20年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	低金利の状況の中、預託効果が以前と比較し薄れているが、低金利の中以前のような預託効果をだすためには、相当の財源が必要となることから、現行制度を維持する。
H19→H20予算反映額		△14,000千円

(2) 20年度の実施方針

継続実施



検討の有無	—
総合指標	20